

第4回 甲府市社会福祉審議会 健康・保健専門分科会 議事録

開催日時：令和5年11月29日（水） 19時00分～20時10分

場 所：甲府市役所本庁舎6階 大会議室

出席委員：8人

欠席委員：2人

事務局：健康支援室長、地域保健課長、母子保健課長、健康保険課長、精神保健課長、医務感染症課長、生活衛生薬務課長、健康政策課長、外一般職員7人

担当課：福祉保健部 健康政策課

傍 聴：なし

次 第：

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 数値目標設定事業評価と次期保健計画の数値目標について

(2) 次期保健計画の素案について

(3) その他

4 閉会

会議内容：

1 開会

事務局より開会の挨拶を行った。

2 会長挨拶

会長より挨拶を行った。

3 議事

(1) 数値目標設定事業評価と次期保健計画の数値目標について

事務局より、「現行計画 数値目標設定事業評価」、「次期計画 数値目標設定指標一覧表」について説明を行った。

【委員】

資料2「⑨朝食を抜くことが週3回以上ある若者（20～39歳）の割合」について、男女比が分かれば教えてほしい。

【事務局】

男性では38.9%、女性では25.3%が朝食を抜くことが週3回以上あると回答しており、男性の方が高い傾向であった。（当日未回答分）

【委員】

資料2 「⑫1日あたり 8,000 歩以上歩いている人の割合」について、毎日 8,000 歩はハードルが高いため、現状値から 10%増加という目標値は難しいのではないかと。

【事務局】

健康日本 21（第三次）の目標値に合わせて、追加した目標値である。本市としても、健康アプリを活用し、既存のウォーキングの推進事業と合わせて、歩くことの楽しさなどを周知啓発できればと考えている。目標値については、無理のない範囲での設定だと認識している。

【委員】

高齢者の健康づくりにおいては、「健康寿命の延伸」が高齢者の方々の心に響くものだと考える。また、高齢者の健康づくりにおいては個別の数値だけでなく、トータルヘルスが重要であり、個人ごとの健康観に合わせて健康づくりをしていく必要がある。

加えて、「歯・口腔における健康づくりの推進」について、数値目標を追加したことはよいと思う。ただ、「⑳歯・口腔の健康を保つことへの関心を持っている人の割合」について、関心を持って歯科健診の受診につながらない場合もあるので、次期計画においてはその点を考慮してもらいたい。

【事務局】

高齢者の健康づくりについて、数値目標を設定しているものの、各事業を通じて、生きがいをみつけてもらえるような形で進めたいと考えている。

(2) 次期保健計画の素案について

事務局より、「保健計画（素案）」、「保健計画概略」について説明を行った。

【委員】

中学生の食事に焦点があたった点について、保護者に左右されず自分自身で考え行動できることにつながることは良いと思う。その中で、学校教育の充実が重要となるため、学校現場においても健康に関して取り組んでいくことが必要である。

【委員】

施策 1 「妊娠前から子育て期にかけての親と乳幼児期の子どもの健康づくりの推進」について、甲府市がどのように妊娠期から子育て支援に繋げているのか教えてほしい。子育て支援センターの現場において、2,3 歳の子どもが来ないため子育て支援センターの存続を危惧する声が挙がっている。その中で、産婦人科の病院とも連携し、妊娠期からアプローチして子育て支援センターに繋げる動きがでてきている。そのため、今後甲府市においても、産後だけでなく妊娠期からのアプローチが必要であると感じている。

【事務局】

現状では、産婦人科との連携という形はとっていないが、各子育て支援センターで実施する、遊びを通じて親子を含め交流をしていただいている「すくすく広場」に、子育て支援コーディネーターが関わっていく中で工夫をしている状況である。また、資料 3 62 ページに記載のある「子育て・お助け隊」のように愛育会と連携し、入園前の子どもが地域で集まる場所を設けている。加えて、マイ保健師が妊娠期からコミュニケーションを取っているため、その中で必要な支援に繋げていければと考えている。

【委員】

2, 3 歳が子育て支援センターに来ない原因を分析し、それに対応していくことが重要だと考える。

【委員】

施策4「高齢期における健康づくりの推進」において、「笑い」を取組こいれることはよいことだと考える。笑いが健康につながることはエビデンスもあり、コストもかからないと想定されるため、施策の中でも意識して取り組んでもらいたい。次回の計画策定時に指標として組み込んでも良いのではないかと考えている。

【委員】

ウォーキングマップについて、新鮮さが無いと感じている。町全体として取り組むことは良いと思うので、ウォーキングを中心に健康づくりの推進に引き続き取り組んでもらいたい。

【事務局】

各地区で実情に合わせたマップ作りにご協力いただいております。マップについては、5年ごとの見直しを実施しており、令和2年度に改訂していることからそこから5年先を目安に更新に取り組んでいきたい。

【委員】

自治体によっては、笑いを特集し小冊子として配布しているところもある。

施策2事業6「がん教育事業」について、具体的な内容を教えてほしい。子宮頸がんのワクチンについては10代前半から接種という話もでていたため、小学校から教育を進めていく必要があると感じている。

【事務局】

小中学校にて出前講座を開催し、がんそのものについてや、生活習慣、健診など様々なことを子どもへ伝えるように教育を実施している。また、子どもを通じて親にも情報を伝えることを目指している。今後も、小中学校と連携して推進していきたい。

(3) その他

【委員】

似たような事業が複数あるため、地域のリーダーの負担になっていると感じている。甲府市の方向性をシンプルにすることで、市民に分かりやすい形にしていきたい。各主体において連携がしっかりしていれば、事業の重複はなくなると思う。

【事務局】

ご指摘のとおり、重複する部分があることは認識している。各事業を実施する際に、他部局の事業を確認し整理することで、効果の高い事業を行っていきたい。

【事務局】

本日をもって、今年度の健康・保健専門分科会は終了となる。いただいた意見を踏まえ、パブリックコメントに向けて計画を作成していく予定である。

資 料：

1. 現行計画 数値目標設定事業評価
2. 次期計画 数値目標設定指標一覧表
3. 保健計画（素案）
4. 保健計画概略